記者発表

平成３０年８月９日
国土交通省東北地方整備局
最上川ダム統合管理事務所

# ８月５日前線に伴う豪雨における寒河江ダムの効果について

## ～　寒河江ダムによる水位低減効果　約１０５センチ　～

**寒河江ダム**では、平成３０年８月５日から６日にかけて、前線に伴う豪雨がありましたが、例年に比べ貯水位が下がっていたため、ダム下流への放流を増量せず、**全量ため込むことが可能**でした。

**寒河江ダムへの最大流入量は約４８７m3/s**で、**ダムにため込んだ水の総量は、約１，１５７万m3**に達しました。（東京ドームを容器とすると約９．３杯分）

この洪水調節により、**寒河江ダムの下流河川の水位（西根地点）を約１０５cm低減**させる効果があったものと推測されます。

【発表記者会:山形県政記者クラブ】


問い合わせ先

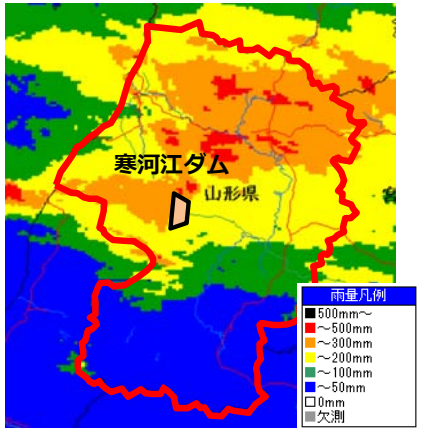
国土交通省　東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関１５８
副所長　坂本（サカモト）悟（サトシ）（内線204）
調査課長　片桐（カタギリ）真也（シンヤ）（内線351）
電話　０２３７－７５－２３１１（代表）

# 出水速報　最上川水系　寒河江ダムの効果（ 平成30年8月5日 前線に伴う洪水 ）

○最上川水系寒河江川の寒河江ダム上流域において、8月5日10時頃から降り続いた雨は、8月6日7時までに**累加雨量が162mm**に達し、寒河江ダムでは**最大毎秒487m³**（8月6日6:10）の水が流れ込みました。
○今回の洪水において、寒河江ダムでは**約1157万m³（※東京ドームで約9.3杯分）の水を貯め込み**、下流河川の水位の低下を図りました。
○寒河江ダムによって、ダム下流の**寒河江市西根地点（寒河江川下流基準地点）で約105cmの水位を低減**させる効果があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

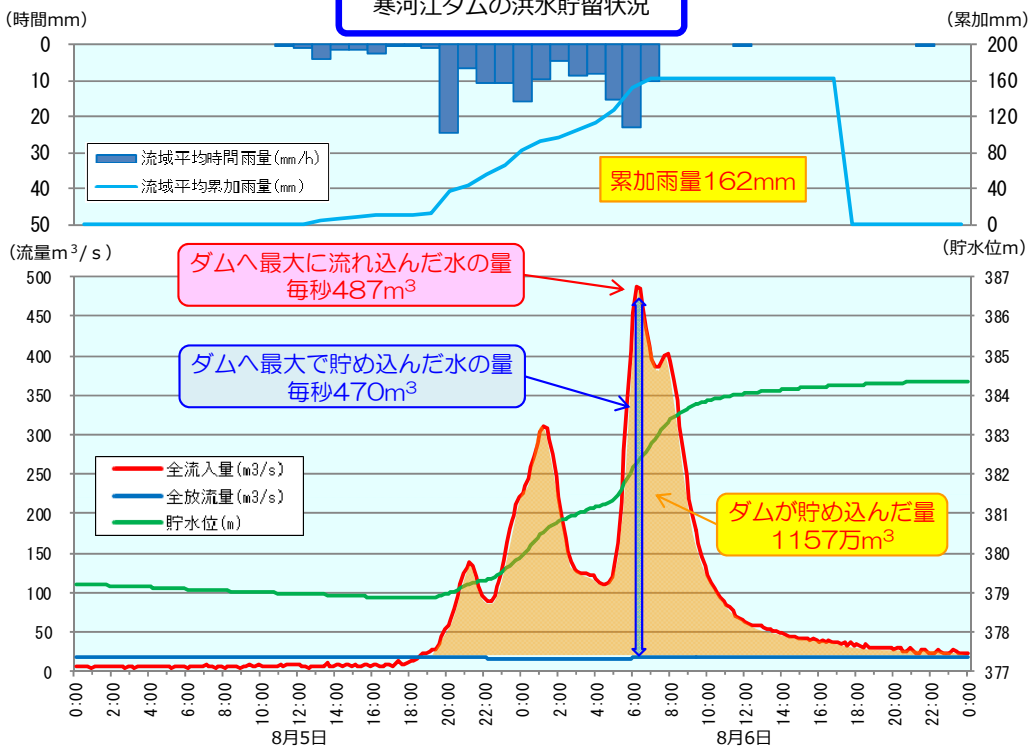
## レーダー累加雨量
（8月5日10:00 ～ 8月6日10:00）



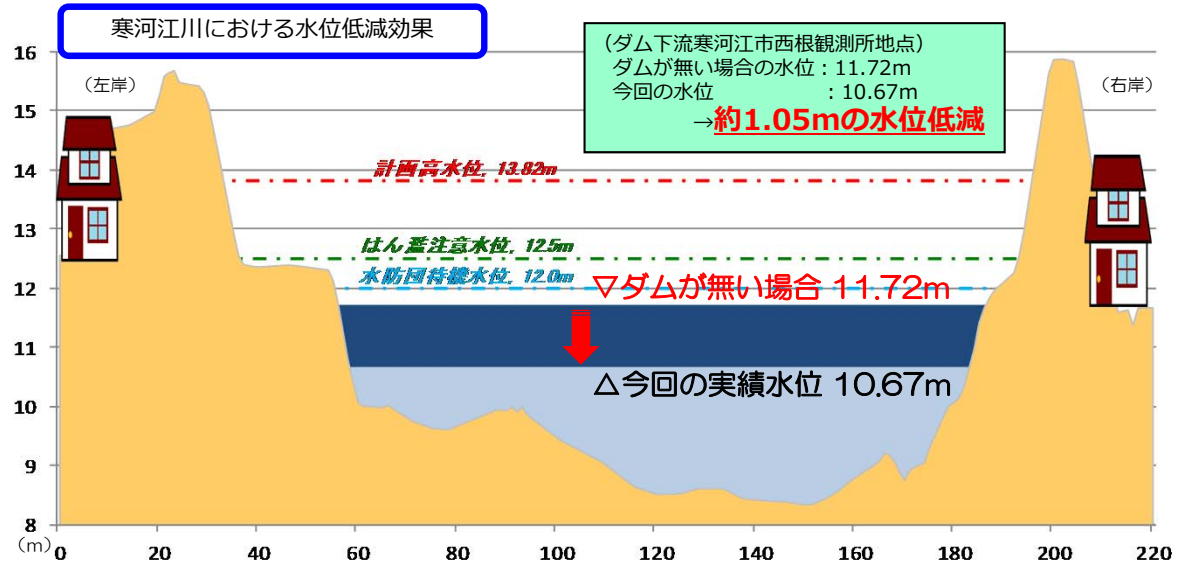

## 位　置　図




## 寒河江ダムの洪水貯留状況




## 寒河江川における水位低減効果




（ダム下流寒河江市西根観測所地点）
ダムが無い場合の水位：11.72m
今回の水位　　：10.67m
→**約1.05mの水位低減**

## 寒河江ダム貯水状況

